

Sun™ Management Center 3.5, Update 1

Sunのシステムの管理を、更に容易に



Key feature highlights

Solaris™オペレーティングシステム(SPARC®版 / x86版)を利用したシステムとLinuxシステムの管理が可能

新しい IN1™ Grid Console - Container Manager の基盤

Microsoft Windows XPとSolarisオペレーティングシステム(x86版)上のJava™ Consoleをサポート

SNMPパケットの完全な暗号化で、セキュリティを向上

新しいシステム稼動時間とAggregate CPU Utilizationレポート

無数の属性値を監視し、イベントとアラームを管理

しきい値を利用したアラームによるスクリプト起動で、障害発生時の対応を自動化

ハードウェア / ソフトウェアを詳細に診断可能
各コンポーネントを、判りやすくリアルに視覚化

Sunのシステムを1箇所集中管理可能

Sun環境の管理を簡素化し、サービスレベルを維持したままコストを削減

複雑な処理を、管理されたオブジェクトとして容易に設定 / 割り当て

最新のサードパーティ製品との統合で、企業全体の異種混合環境に対応

リモートからの動的再構成やドメイン管理を実現するセキュアな管理制御

開発環境の提供で、強力な操作性に優れたGUIと共にモジュールの開発や変更が可能

Sun™ Management Centerは単一のSunコンソールから、SPARC / x86環境で動作するSolarisオペレーティングシステムやLinuxシステム上のアプリケーションの可用性向上 / パフォーマンスと拡張性の最適化 / 監視と管理の簡素化を可能にします。システム管理者はSun Management Centerを利用することで、ネットワーク上の何処からでも、さらにWeb経由でもSunのインフラストラクチャの制御が可能になります。JavaテクノロジのインタフェースやWebブラウザを利用して、一度に数百のSunのシステムを管理することができます。

Sun Management Centerは、最も包括的にSunの環境に対する機器と管理に関する知識と、他の管理プラットフォームとの情報共有を可能にするオープンなインタフェースを提供します。エージェント・レベルで作用する自動修正機能が、提供しているサービスへ及ぼす影響と人的な修正作業の必要性を最小化します。結果として、更に容易なシステム管理の実現 / 包括的な運営コストの削減が実現します。

サービスレベルの向上

- イベントとアラームによる包括的な管理が、システムの連続動作時間を最大限に引き出す
- クリティカルなシステムのパフォーマンスと構成情報は、障害分析 / システム規模の決定 / キャパシティ・プランニングを行うために蓄積され、分析が行われる
- 包括的なオンライン診断 / 検証がハードウェア障害を未然に特定し、システムへの影響を防ぐ
- セキュアな管理機能が、動的再構成やドメイン管理を実現
- ユーザ定義による修正機能がサービスに与える影響を最小化し、日常の運用に必要なITスタッフの対応時間を削減

サービスレベルの維持費用を低減

- 障害予測分析によって、事前に通知を行う
- 複雑なシステムの管理と繰り返し作業の自動化が、

作業時間の削減と人的ミスによる障害発生を防止

- グループによる運用 / コマンドライン・インタフェース・ユーティリティ / モジュール構成の複製 / モジュール管理など企業業務に対応した機能が、最適な管理効率を実現

企業全体への拡張

- Sunのデスクトップ / サーバ / ストレージ・システム、そして全てのSunプラットフォーム上で実行されるアプリケーションをリモートから管理可能
- システム管理者は、組み込まれたセキュリティ機能を使い、自らの環境を管理可能
- Sun Management Centerは、Computer AssociatesのUnicenter / HP OpenView / Tivoli / Netcoolなど、異種混合した企業管理フレームワークとの統合が可能

Sun™ Management Center 3.5, Update 1

カスタマイズを可能にする開発環境

- アプリケーションやハードウェア・デバイスを監視するための新規モジュールを作成可能
- クライアントAPIにより、Sun Management Center ソフトウェアのインタフェースを作成可能
- GUIベースのモジュール・ビルダーによる、新しいモジュールを作成するための強力な操作性に優れたインタフェースの提供

Sun Management Centerのコンポーネント

Sun Management Center

- インストールGUIウィザード / 実装ツール
- 基本的なハードウェアとオペレーティングシステムの監視
- アラーム / イベント監視
- 検証
- Sun Fire™システムの動的再構成
- 物理ビュー / Webコンソール
- グループ運用
- エージェント・モジュール構成
- CLI(Command line Interface)
- カスタム・コンソール・ビュー

Advance System Monitoring

- フル・カーネル・リーダ
- Solarisヘルス・モニタリング
- ファイルシステム・モニタリング
- ハードウェア診断スイート

System Reliability Manager

- クラッシュ・ダンプ・アナライザ
- パッチ・モニタリング
- ファイル・ウォッチャ
- スクリプト・ランチャ

Service Availability Manager

- 継続的なWebサービス監視
- レスポンス監視のための合成トランザクション
- リモート・エージェント

Performance Reporting Manager

- あらゆる情報の視覚化とレポート作成
- パフォーマンスおよび傾向分析
- Webレポート
- 自動的なレポート生成

N1™ Grid Console — Container Manager

- Containerの設定 / 管理のコストと複雑性を削減
- 複数システム内のコンテナを包括的に集中管理可能
- 関連情報を表示するウィンドウを持つGUI(Graphical User Interface)の採用で、サーバ統合を容易に実現

オペレーティングシステムとプラットフォーム

- サーバ層
 - Solaris 9以降、Solaris 8以降の各リリース (SPARC版)
- エージェント層¹
 - Solaris 9以降、Solaris 8以降、Solaris 7以降、Solaris 2.6以降の各リリース(SPARC版)
 - Solaris 9以降の各リリース(x86版)
 - Red Hat Enterprise Linux WS 2.1/3 (32bit/64bit)
 - Red Hat Enterprise Linux AS 2.1/3 (32bit/64bit)
 - Red Hat Enterprise Linux ES 2.1/3 (32bit/64bit)
 - SUSE LINUX Enterprise Server 8 (32bit/64bit)
 - SUSE Linux Enterprise Server 9.0 Professional (32bit/64bit)
- コンソール層
 - Solaris 9以降、Solaris 8以降、Solaris 7以降、Solaris 2.6以降の各リリース (SPARC版)
 - Solaris 9以降の各リリース(x86版)
 - Microsoft Windows 98/NT/2000 Professional/XP

1. Linuxエージェントはダウンロードでのみ入手可能です。 Sun Management Center Platform Update 1 Media Kitには含まれていません。

ハードウェア・プラットフォーム

サポートしているプラットフォームの詳細な一覧は、sun.com/sunmanagementcenter/のInstallation and Configuration Guideをご参照ください

ソフトウェア層ディスク容量要件 (基本インストール)

サーバ層 : 800MB
 エージェント層 : 18MB
 コンソール層 : 62MB

Advanced System Monitoring (基本インストールに加えて)

サーバ層 : 3.3MB
 エージェント層 : 2.02MB
 コンソール層 : 0.27MB

Service Availability Manager (基本インストールに加えて)

サーバ層 : 1.6MB
 エージェント層 : 1MB
 コンソール層 : 0.5MB

System Reliability Manager (基本インストールに加えて)

サーバ層 : 3MB
 エージェント層 : 1MB
 コンソール層 : 0MB

Performance Reporting Manager (基本インストールに加えて)

サーバ層 : 5 ~ 24GB
 エージェント層 : 8 ~ 80MB
 コンソール層 : 3MB

サポートしている主要な標準仕様

SNMP v1 / SNMP v2usec / RMI / HTTP / HTTPS

詳細

Sun Management Center 3.5, Update 1の
 詳細については、
sun.co.jp/software/をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717 5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4	エグゼ丸の内507	電話(052)203 1233(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪府中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51 2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25 5701(代)
ホームページ	http://sun.co.jp/		

© 2004 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Java, Java Coffee Cupのロゴマーク, Solaris, N1, Sun Fireは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

